



明るく 豊かに たくましく

鵜川高校だより

令和 6 年 4 月号
(R6.4.26 発行)
北海道鵜川高等学校
TEL/FAX 0145-42-2085

学校 HP <http://www.mukawa.hokkaido-c.ed.jp/>

鵜川高校を世界の探究活動のリーディングスクールに

校長 柳 本 高 秀

日頃より皆様には、鵜川高校の教育活動にご理解ご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

鵜川高校は、長年、「むかわ学」をはじめとした探究活動を進めております。高校の学習指導要領においても、総合的な探究の時間や教科横断的な学びの推進が叫ばれている中、鵜川高校はいち早くその取組を始めています。

今年度は特に、本校コンソーシアム、大学・研究機関・教育局等、他校の教職員・児童生徒や他地域の企業等との連携を強化した『むかわ探究ゼミナール』を組織し、

- ・本校での探究活動や高校魅力化の取組の普及による育成

- ・VUCAの時代においても、主体的に生き抜くことができるエージェンシーの育成

を目標とし、探究を柱とした社会に開かれた教育課程の実現を強く推進してまいります。

この推進のためには、鵜川高校に関係する全ての人々が学校を中心とした地域社会全体で、日々「探究」していくことが必要であると考えています。

- 生徒の探究力の向上

- 教職員の教科・探究等に関する指導力向上

- 地域・本道・国内外における学びの場の提供

本校生徒のみならず、教職員、地域の皆様にとっても、本校が真の『学びの場』となることで、鵜川高校に関係してくださる全ての方々の人材育成を図ってまいります。

ノーベル賞受賞者のむかわ町出身鈴木章先生は、「むかわから世界へ飛躍しよう」とおっしゃっています。私も、鵜川高校の目指す姿に、真の『グローバル化』があると思っています。

鵜川高校はこれからも、探究活動等で育まれる問題を解決していく力や、今までの慣習にとらわれない創造性豊かな推進力を自ら主体性を持ってどんどん育ていけるよう、世界の探究活動のリーディングスクールになるべく深化と進化を続けます。

本校生徒が、安心・安全で心もからだも大きく成長し、主体的によりよく人生を切り拓いていける人材となるよう、本校教育活動の充実をさらに進めてまいります。

皆様方の本校教育活動への益々のご理解ご協力をお願いいたします。



企画総務部より

企画総務部長 山 岸 拓

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。本校では、令和6年度も「地域創生に向けた高校魅力化」の実現に向けて、様々な教育活動を行って参ります。

●地域みらい留学・地域みらい留学365（北海道高等学校「高校生対流促進事業」）

高校2年生の1年間、在籍している高校とは別の高校で過ごす国内留学制度です。昨年度は、千葉県の公立高校から1名、東京都の私立高校から1名、本校に留学生という形で生徒を受け入れました。今年度は東京都の私立高校から1名、福岡県の公立高校から1名、生徒を受け入れています。また、昨年度から「3年間の留学」も可能となり、今年度は東京都から1名、神奈川県から1名の入学者がありました。今後も積極的に町内外・道内外の生徒を募集する予定です。

●鵜川高校魅力化コンソーシアムの運営

令和2年度から本格的に始動した鵜川高校魅力化コンソーシアム（共同事業体）は、鵜川高校の応援団組織です。今年度も構成団体の皆様のご協力を頂きながら、本校の柱である学校設定科目「むかわ学」における探究活動や「チャレンジスタディ」で行われる長期インターンシップの「デュアルシステム」を初めとした、様々な場面で皆様のご協力を頂く場面があるかと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

●学校開設科目「チャレンジスタディ」「むかわ学」の実施

平成29年度から実施している上記教科について、今年度も地域や保護者の皆様のお力を借りながら実施して参ります。特に、夏休み明けから実施する「デュアルシステム」や、9月に実施する「むかわ学提言発表会」において、生徒の取り組みをご覧になる場面もあるかと思っておりますので、是非お越しいただき、忌憚のないご意見を頂ければと思います。また、チャレンジスタディについては、今年度より従来のアドバンスグループを「進学コース」、グローバルグループを「総合グループ」と名称変更し、より多くの世代に訴求できるような運営をして参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

その他にも公開授業週間や学校評価アンケート等の場面で、ご意見を頂く場面がございますので、是非本校の取り組みをご覧になり、ご意見を頂ければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私が、教室に入ったとき、これから始まる高校生活に心を踊らすとともに、うまくやっていけるのだろうかという不安な気持ちでいっぱいでした。そして、新入生一同で迎えた入学式では、義務教育という殻を破り、責任を自分で持つ高校生になったのだと自覚しました。

高校生活が始まり、新しい環境に慣れない中、私には今頑張らないといけないことがあります。特に勉強です。鶴川高校は期末テストではなく、普段の小テストが成績に影響するため、自主学習の習慣をつけられるように日々努力していきたいと思っています。

そして、高校生活で楽しみなことは、学校祭と球技大会などの行事です。中学校では例年通りできなかった学校行事を、新入生とともにいきいきとした学校行事にしていきたいと思ったからです。

私はこの高校生活で、クラス一丸となって、毎日を大切に過ごしていき、みんなで笑える思い出を作っていきたいと思っています。



コラム ～地域みらい留学 365 留学生を迎えて☆

「地域みらい留学 365」は、在籍する高校とは別の地域で高校2年生の1年間を過ごす、国内単年留学を可能にする仕組みです。内閣府の高校生の地域留学の推進のための高校魅力化事業として、本校では令和3年度から留学生を受け入れてきましたが、昨年度に引き続き、今年度も2名の生徒を迎えました。留学生活を通し、地域の方々と積極的に関わるための情報発信の手段として、留学生のコラムを連載いたします。

2年A組 K. I さん

はじめまして！福岡県から来ました、K. Iです！
新しい環境で不安なことも多いですが、同級生や他学年関係なくいろんな人と仲良くなりたいと思っています。人見知りで自分から話しかけるのは苦手なのでたくさん話しかけてもらえると嬉しいです😊
1年後、帰りたくない〜🥰と思えるくらいいろんなことを体験・挑戦して、楽しく充実した一年にしたいです!!
1年間よろしくお願いします！



2年A組 K. Sさん

皆さん初めまして。東京都の高校に在籍しています。K. Sです。留学を通して、将来の夢を確立させたいと考えています。そのために、東京ではできないことを経験し、新たな価値観とたくさん出会いたいです。
今は緊張とワクワクが入り混じったような状態ですが、1年間という短い期間だからこそ、できることはなんでもやりたいと思っています。
皆さんとの高校生活が楽しみです。1年間よろしくお願いします。



☆今後、普段の学校生活や町での活動について連載していきます。お楽しみに！！